



「『いつでも、どこでも、誰もが気軽にサッカーを楽しめる』環境や文化を広げていくこと」を目的として開催を進めている「2026年度 HKFA小規模サッカーフェスティバル」。10月24日(土)は、「HKFAキッズサッカーフェスティバル IN 真狩」として、真狩村立真狩小学校グラウンドで開催をしました。3年生2名、2年生6名、1年生5名、年長児2名、年中児3名、年少児1名の合計19名のサッカーキッズが真狩村を中心に近隣の町村から参加してくれました。羊蹄山を間近に見ながら、サッカーや運動遊びを楽しんでもらいました。

グリー~ンカード!!

フェアプレーや周りへのリスペクトあふれる行動など、選手の良いプレーや行いを讃えるために、小学生やキッズ年代の選手には、積極的に「グリーンカード」を提示しています。フェスティバルの始まりにあたり、グリーンカードが提示されたら、元気にいっぱい喜びを声や体で表現することを確認しています。



ウォーミングアップ



まずは、ハイタッチしながら歩いたり、はしゃいたりして、体を温めるとともに参加者同士の距離を縮めることからスタートしました。(藤村校長先生も御参加ありがとうございます。)その後は、投げ上げキャッチや足でのボールタッチなどをしながら、ボールにも慣れてもらいました。「だるまさんが転んだ。」では、ボールを手に持ったり、足でドリブルしたりしながら、コーチのフェイントに引っかからないようにストップする動作をがんばり、楽しく体を動かしてもらいました。

キックターゲット&シュートチャレンジ!

コーンを狙って蹴ったり、ゴールに思い切りシュートしたりということにもチャレンジしてもらいました。失敗しても繰り返しチャレンジして成功体験を増やすことで、自信につながってもらえたと思っています。



おつかれさまでした。



クールダウン、記念撮影でプログラムは終了です。楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまいました・・・。



ゲームタイム

最後は、U6と小学生に分かれてゲームタイムです。U6の相手は、藤村校長先生&もりもりコーチ。結果は、U6チームが「5対3」で見事勝利を納めました。

今回の開催に際しまして御理解と御協力いただきました小樽地区サッカー協会、グラウンドの使用許可をくださいました真狩村教育委員会、そして、準備段階から多大なる御尽力を賜りました真狩村立真狩小学校:藤村 政規 校長先生(当日は、キッズたちと一緒に活動にも御参加いただきました。)には、この場を借りて心より御礼を申し上げます。(公益財団法人 北海道サッカー協会 キッズ委員 佐賀 主昌)